

# 皆さまから寄せられたご意見

## ～意見要旨（案）～

○の意見要旨：第2フェーズで新たに見られた意見要旨  
その他の要旨中の下線部：第1フェーズの意見要旨から変更・細分化された部分

### 〈ご意見の整理方法〉

寄せられたご意見は、主張や要望の理由となっている皆さまの関心事に着目して整理しています。

少数意見であっても配慮すべき関心事にはしっかり着目する必要があるため、意見数の多寡にとらわれず整理しています。

## 1. 羽田空港国際線増便の必要性と実現方策

### 羽田空港国際線増便の必要性

#### 【国際競争力の強化】

- 国際競争力、都市機能の向上やグローバル化に向けて、羽田空港の機能強化に期待している。
- 国際ハブ空港を目指して発展してほしい。
- 騒音や安全性への懸念などにより、むしろ首都圏の競争力・魅力が低下するのではないか。

#### 【経済活性化、ビジネス機会、就労機会】

- 経済発展のためには羽田空港の機能強化は必要だと思う。
- 住民の生活よりも経済を優先させる計画には納得がいかない。
- 羽田空港の国際線が充実することで、ビジネスの機会が創出されることを期待している。
- 海外からの投資や企業誘致、日本企業の海外展開などを期待している。

○ 増便による羽田空港関連の雇用増を期待する。

#### 【地方活性化、ビジネス機会、就労機会】

- 首都圏だけでなく地方の活性化のために、羽田空港の機能強化は重要だ。
- 利便性が上がっても、羽田空港周辺の地域にはメリットが感じられない。
- 地方活性化を目指すのならば、直接地方空港を活用すべきではないか。

#### 【観光、インバウンド】

- 訪日旅行者数の増加が期待できる。
- 訪日旅行者数の増加に対応するため羽田空港の機能強化は必要だ。
- 訪日旅行者数の動向にはリスクがある。需要や伸びを過剰に見積もっているのではないか。

○ 周辺地域の地域行事や観光資源等への配慮もしてほしい。

#### 【学術・文化の振興】

- 海外との文化や芸術などの交流機会が増える。

#### 【海外渡航の利便性（アウトバウンド）】

- 海外への渡航がより便利になり、海外旅行等の機会が増える。
- 羽田空港からの就航都市を増やしてほしい。

○ 地方から海外への渡航がしやすくなり、海外旅行等の機会が増える。

#### 【オリンピック・パラリンピックとの関連】

- 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて機能強化は重要である。
- 東京オリンピック・パラリンピック大会を理由に機能強化することは疑問である。
- 増便するのは東京オリンピック・パラリンピック大会期間限定にしてほしい。

○ オリンピック・パラリンピック開催時の騒音影響により、競技に支障がでるのではないか。

#### 【人口減少】

- 人口が減少し需要が下がっていくのに、増便をする意味があるのか疑問だ。
  - 人口減少時代を迎え、外国との人の往来を増やすことは重要だ。
- 人口減少、少子高齢化そのものへの対策に取り組むことが重要ではないか。

#### 【成田空港との連携・住み分け】

- 羽田空港だけでなく、成田空港の機能強化も検討してほしい。
- 羽田空港の機能を強化しなくても、更なる増便やアクセス改善等により成田空港をもっと活用すれば十分ではないか。
- 羽田空港と成田空港との機能分担を踏まえた検討が必要ではないか。

○ 成田空港の容量も一杯の時間帯については、羽田空港の増便もやむを得ないのではないか。

- 成田空港だけでなく、羽田空港にもLCCを多く就航させてほしい。
- 羽田空港と成田空港とが一体的に運用することを考えた上で、機能強化の方法を検討する必要がある。
- 成田空港と連携するため、羽田-成田間の交通アクセスを良くしてほしい。

#### 【他空港との連携、機能分散等】

- 羽田空港の機能強化と併せて、他の空港を活用する必要がある。
- 羽田空港は既に過密状態で、これ以上の発着回数の増加は難しいのではないか。
- 羽田空港のみに集中させず、周辺の地方空港を活用してほしい。

#### 【新空港の建設】

- 羽田空港の機能強化ではなく、首都圏に新たな空港を建設すべきだ。

#### 【横田基地等の活用】

- 横田や厚木などの基地を活用するなどの方法は考えられないのか。
- #### 【新幹線や船舶などの交通モード活用による機能分散】
- 国内移動は飛行機だけでなく新幹線、船舶などの他の交通手段を活用して、分担すれば良いのではないか。

#### 【今後の更なる機能強化への期待】

- 将来的には今回の提案以上に便数を増やし、さらなる機能強化をはかってほしい。

- 深夜・早朝時間帯などもさらに活用してほしい。

#### 【その他】

- 機能強化だけではなく、規制緩和などにも取り組まないと、発展には結びつかないのではないか。

### 羽田空港国際線増便の実現方策

#### 【飛行経路・滑走路運用・空域等の変更】

- 新飛行経路案以外の経路はないのか。

○ なぜこのような新飛行経路が提案されているのかは理解できた。引き続き、影響を軽減するための方策を検討してほしい。

- 説明を聞いても、やはり住宅密集地上空の飛行には納得できない。
- できるだけ地域への影響を小さくするような実現方策の検討、配慮をしてほしい。

- 南風案1と言われる技術的選択肢の方が望ましいのではないか。

- 図示されている飛行経路から外れて飛ばないかが心配だ。

- 提案された滑走路の運用は、滑走路上で交錯ポイントが減っており、安全だ。

- 新飛行経路の検討において、横田空域の影響を受けているのではないか。空域の変更や拡大などにより、多様な経路が検討できるのではないか。

- 新飛行経路案は横田空域を通過する案となっているため、経路として使用できないのではないか。

- 他の時間帯を活用すれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないか。

- 搭乗率を上げれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないか。
- 機体の大型化を進めれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないか。

- 事業費をかけずに増便が可能な新飛行経路での機能強化は良いと思う。

#### 【滑走路増設】

- 抜本的な課題解決のためには、新たな滑走路増設とそれに合わせた飛行経路見直しの検討が必要ではないか。

- 滑走路を増設すれば、飛行経路の見直しは不要ではないか。

#### 【国際線と国内線の枠のバランス】

- 需要に応じて国内線と国際線とのバランスをとっていくことが重要。

- 国内線の便数も増やしてほしい。

- 国内線の便数を減らして、それで国際線を増やせばよいのではないか。

#### 【その他】

- 国際線について、いきなり6万回から9.9万回まで増やすのではなく、段階的に増やしても良いのでは。

- これまで沖合展開などで騒音軽減を図ってきた歴史に逆行するのではないか。

- この提案でも国際線はそこまで増えない。根本的な解決にならない。
- 国際線増便後の航空会社への発着枠の配分方法について、よく検討してほしい。

### 提案方策に関わる心配、懸念

#### 【音】

- 朝早い時間や夜遅い時間の発着による騒音が心配だ。
- 騒音が気になる。
- 大型機による騒音が心配だ。
- 住宅地やオフィス街を飛行するので、騒音影響が心配だ。
- 学校や医療機関、研究施設への影響が心配だ。
- 騒音被害による動植物への影響が心配だ。
- 病人や乳幼児、障がい者等の弱者への影響が心配だ。
- 今までなかった騒音が発生し、生活環境が大きく変わるのではないかと心配だ。

- 高速道路や飛行機などによる現状の騒音に、新飛行経路による飛行機の騒音が加わることで生活環境が更に悪化するのではないか。

はやめてほしい。

- 新飛行経路の運用時間を厳守してほしい。
- 提案されている夕方時間帯であれば問題ないのではないか。

#### 【便数】

- 新飛行経路の運航便数（頻度）が多すぎるので、できる限り減らしてほしい。

#### 【飛行経路】

- 騒音や安全性を考えれば、海や川の上など、できる限り住宅地や公共施設を避けた飛行経路とすべき。
- 飛行経路のプレを少なくしてほしい。

○ 決められた飛行経路を遵守し外れることのないようにしてほしい。

- 飛行経路の設定・運用に当たっては、経路の分散も含めて、騒音

- 新飛行経路を飛行する頻度が多いのが気になる。
  - 天候によって飛行機の騒音は変わるのではないか。
  - 騒音などの影響はある程度はやむを得ないのではないか。
  - 騒音などの影響はあまり気にならないのではないか。
- 説明を聞いて、自分が住んでいる地域への音の影響がよく理解できた。
- 説明会で体験した音が思っていた以上に小さかった/大きかった。
- 屋内であれば安心できることが分かった。
- 防音が不十分な建物にも配慮してほしい。
- 今回の提案によって、現飛行経路の騒音がどう変わっていくのか知りたい。

#### 【その他の環境影響】

- 発着回数増加による大気汚染や自然環境の悪化が心配だ。
- CO2が増加し、地球環境温暖化への影響があることが心配だ。

#### 【安全】

- 新飛行経路は人の多い街中や住宅地を低空で飛行するので、事故によるリスクが高いのではないか。
- 旅客機の飛行により、小型機やヘリの飛行に制約が生じ、墜落事故が起きるのではないかと心配だ。
- 工業地帯の上を通過するのはリスクが大きいのではないか。
- 野鳥や渡り鳥などによりバードストライクが起きないかと心配だ。
- 飛行機同士が衝突する事故が起きないかと心配だ。
- 増便や時間帯により経路を切り替えることで管制官の負担が増し、安全面への影響が出ないかと心配だ。
- パイロット不足により安全運航に影響が出ないかと心配だ。
- 悪天候時や自然災害時などの安全確保が心配だ。
- 説明を聞いて、安全に対する姿勢や取り組みがよくわかった。
- どんな交通手段でも事故の危険性はあるので、飛行機が一概に危険といえないのではないか。
- 安全確保や騒音対策が講じられるので、新飛行経路になっても心配はしていない。

#### 【落下物】

- 飛行機からの落下物により被害が生じないかと心配だ。

#### 【漠然とした不安】

- 飛行機が低空を通過することに、圧迫感や不安、ストレスを感じる。

#### 【不動産価値への影響】

- 住環境が悪化することで不動産の価値が下がったり、入居者が減少することを懸念している。
- 人口減少社会の中で、不動産価値を維持するためには、交流人口の増加につながる羽田空港の国際線増便が重要だ。

#### 【関連施設の混雑】

- 国際線が増便されても国際線ターミナル施設や空港設備、アクセス機能が拡張されないと、混雑や利便性の低下が懸念される。

#### 【将来的な影響拡大への懸念】

- 将来的には運用時間帯が拡大されたり、発着回数の増加や更なる飛行経路の設定がされるのではないかと不安である。

#### 【高さ制限】

○ 経路下の建築物が高さ制限を受けるのではないか。

#### 【一般的懸念】

- 国際線の増便は必要だと思うが、騒音や安全性には気をつけてほしい。

#### 【その他】

- 航空機による振動が心配だ。
  - 通信や電波障害などが心配だ。
  - 健康影響が心配だ。
  - 人の往来が増えることによる治安の悪化が心配だ。
  - 人の往来が増えることで、伝染病などのリスクが心配だ。
  - 飛行機がテロの標的とならないかと心配だ。
  - 軍事施設の上空・空域を飛行することは問題とならないか。
  - ヘリコプターの運用などに影響はあるのか。
- 空港機能の拡大に伴い周辺の交通量等も増え、渋滞や生活環境の悪化などが進むのではないか。
- 他空港の事例から見ても、飛行機が飛ぶことにはやがて慣れていくのではないか。

### 賛否のみの意見（必要性、実現方策）

- 羽田空港の機能を強化し、国際線を増便することに期待する。
- 提案された飛行経路には反対だ。

負担の公平性を考慮してほしい。

○ 繁忙期、閑散期など需要の状況等に応じて適切な飛行経路を運用してほしい。

○ 都心部への騒音影響がより小さい北風運用を優先的に使ってほしい。

○ 着陸時の直線進入区間が長すぎる。もっと空港の近くで旋回するようにしてほしい。

#### 【その他】

- 現在の滑走路の向きを変えれば、陸上への影響を少なくできるのではないか。

- 現在問題となっている経路の交錯箇所を避けるため、滑走路の配置そのものを見直せないか。

## 環境上の方策、その他の周辺対策に関すること

**【騒音対策、その他の周辺対策】**

- 騒音への対策をしっかりとしてほしい。
- 騒音の状況に応じて、防音サッシの設置などによる防音工事をしてほしい。
- オフィスや研究室等についても騒音対策をしてほしい。
- 学校活動や病院などの医療活動への影響に配慮して欲しい。
- 現在の制度にとらわれず、税の減免や補償金の支払いなどをお願いしたい。
- 新飛行経路による健康被害や経済的負担について補償してほしい。
- 同じ地域内で防音工事や補償がされる人とされない人がいると不公平感が生まれ、地域が分断されてしまうのが心配だ。
- 騒音などの状況を踏まえて、補助する対象地域を広げてほしい。
- 法律でできない防音対策は、国と自治体が一緒になって検討してほしい。
- 騒音などの影響により、地域が衰退しないように地域振興対策を検討してほしい。
- まちづくりや集会所の整備など、何らか地元へのメリットを示してほしい。
- 騒音等の被害により引越せざるを得ない場合には、移転補償を行ってほしい。
- 不動産価値が低下した場合、補償をしてほしい。
- これまで既に騒音対策をしてきた地域、施設に対しても、更なる対策の強化や補助をしてほしい。
- 対策に税金を使うのではなく、増便による受益者や利用者に負担を求め、影響を受ける地区にしっかり還元してほしい。
- 不動産価値を維持するための方策も合わせて検討してほしい。
- 24 時間平均で飛行機の騒音を評価する環境基準の考え方はおかしいのではないか。

**【機体】**

- 飛行機から発生する騒音をより小さく抑える方策を検討してほしい。
- 騒音を抑制するために、大型機の制限を検討してほしい。
- より静かな機体の導入をぜひ進めてほしい。
- 騒音の大きさに応じて空港使用料に差をつけるのはよいと思う。
- 静かな機体やエンジンの開発に国としても力を入れてほしい。
- 低騒音機の導入は航空会社次第なので、長期的にはともかく、即座に効果のある対策として期待できない。

**【現飛行経路の騒音対策】**

- 現飛行経路の騒音対策がなされないまま、新飛行経路が計画されるのは納得がいかない。
- 現飛行経路の騒音対策を更に講じてほしい。
- 現飛行経路について、早朝や夜間の騒音負担を減らしてほしい。
- 現飛行経路（特に悪天時飛行経路）について、緊急時の 23 時以降の到着をできるだけ少なくしてほしい。
- 富津沖ルートの変更る使用率向上を図ってほしい。

# 3. 進め方（全体）

### 検討の進め方（動機、計画期間、決定主体等）

**【提案の動機】**

- 説明を聞いても、国際線の増便が必要となる理由が理解できない。
- 2020 年までという短期的な視点ではなく、もっと長期的なビジョンを持って検討してほしい。

**【検討期間、計画決定時期】**

- 新飛行経路の開始時期はいつか。
- 新飛行経路が決定するのはいつか。
- 飛ばすことを決める前にこういう説明会をやるのは大変良い。
- 計画検討に時間をかけ過ぎではないか。国際線増便をできるだけ早く実現してほしい。
- 計画の検討にもっと時間をかけるべきではないか。

**【決定主体】**

- 最終的な決定主体、決定方法をより明確に示してほしい。
- 国が決定するのではなく、住民投票などにより決定すべきではないか。
- 経路下の自治体の役割を明確にして、行政間の連携を図りながら検討を進めてほしい。
- 国がしっかりと検討し、決定していくべきだ。
- 国土交通省のみで検討決定するのではなく、政府全体で検討すべきである。

**【どこまで決まっているのか】**

- 提案は既に決定した事項か。経路の変更はあり得るのか。

**【継続的なコミュニケーション】**

- フェーズ 2 以降も、継続的に説明会や対話の機会を設けてほしい。

### 検討の進め方（プロセス）

**【透明性】**

- 計画内容を決定する際の検討内容、意見のまとめ方や住民対話の進捗状況について積極的に公表してほしい。
- 住民からの意見を行政内部でしっかりと共有してほしい。
- 意見や主な質問に対する回答は、ホームページ等を通じて幅広く共有してほしい。

**【公正性】**

- メリットとデメリットの両面について、客観的で公正性のある情報を示してほしい。
- 寄せられた意見について、航空の専門家や有識者などの第三者の見解も聞いて検討してほしい。
- 説明資料などで提供される情報やデータなどが意図的なものに感じられる。
- 【受益と負担、公益性等のバランス】**
- 国全体の利益に加え、日常生活に影響のある人のことも考えて、慎重に検討を進めてほしい。
- 飛行経路をできるだけ分散させて、特定の地域のみが負担を負わないようにしてほしい。
- 広範囲にメリットがもたらされるとしても、負担は飛行経路下の一部の住民に集中するのは不公平だ。
- 多くの人が負担を強いられる一方で、国際線増便のメリットは一部の人にしか及ばないのではないか。
- これまで既に飛行機の騒音に悩まされてきた地区の住民に、更に負担を強いるのは問題だ。

- 北風早朝時の A 滑走路北向き離陸左旋回は早期に廃止すべき。
- 【その他】**
- 深夜早朝など、羽田空港から離発着するヘリコプターの騒音を軽減してほしい。
- ヘリコプターや軍用機などの騒音が大きい。安全性も心配だ。
- 雷波障害が発生した場合には対応してほしい。
- 音というよりも省エネ・環境保全の観点から、住宅の二重窓助成ができないか。それが結果的に防音にもつながる。

### 安全上の方策に関すること

**【安全対策の確実な実施】**

- 万が一の事故もないよう、安全基準や運用の徹底をお願いしたい。
- 事故が起きないように、万全の対策を講じてほしい。
- 【各分野の安全対策（機体、航空従事者、管制・空港など）】**
- 機体整備やパイロットの定期的なチェックをより厳しくする必要がある。
- 外国の航空会社に対しても、国内航空会社と同等の安全監督を実施してほしい。
- 基準を満たさない外国の航空会社などは乗り入れを制限してほしい。
- 発着回数の増加に対応できるよう管制機能を強化する必要がある。
- 安全性の向上のために、パイロットや管制官等の教育や心身の健康検査を徹底してほしい。
- 整備士の待遇の改善などに努めることで、安全確保のためのモチベーションを上げてほしい。
- 安全性に疑問があるので、LCC の発着数は増えてほしくない。
- 防災対策も含めて、より安全で安心できる空港運用を行ってほしい。
- 安全な機体の開発に国としても力を入れてほしい。

**【落下物対策】**

- 落下物対策をしっかりと行ってほしい。
- 車輪を降ろす際に落下物が生じることがあると聞いている。車輪を降ろす際のルールを決めておく必要があるのではないか。

**【万が一の場合の対応】**

- 事故・トラブルが発生した場合にどう対処するのか、被害を最小限にできるようにしてほしい。
- 事故が起きた場合の責任の所在を明確にしてほしい。飛行経路を定めた国にも責任があることを肝に銘じてほしい。
- 事故が起きた場合の補償が、確実になされるようにしてほしい。
- 落下物により被害を受けた場合に、対応や補償がしっかりとされる様にしてほしい。

**【保安対策等】**

- テロやハイジャック等の対策を強化する必要がある。
- 海外からの来訪者が増えることで治安が悪化しないよう、対策をしっかりと行ってほしい。

**【その他】**

- ハードストライクに対する安全対策を徹底してほしい。

### 情報・相談窓口に関すること

**【モニタリング・飛行情報】**

- 時間帯や場所を考慮して騒音を測定し、生活への影響を十分に調査してほしい。
- 飛行状況をしっかりとモニタリングし、高度やルートを遵守するようにしてほしい。
- 新飛行経路運用開始後も継続的なモニタリングをして、環境の変化を調査してほしい。
- 最近飛行機が上空を飛んでいるのを目にする機会が多くなったように思う。既に試験飛行を行っているのではないか。
- 飛行経路や運用情報を HP 等でわかりやすく示してほしい。

**【相談・情報窓口】**

- 騒音等についての苦情や問い合わせのためのわかりやすい窓口は必要であると思う。ぜひ設けてほしい。
- 電話口ではわかりにくいところもある。直接担当者と話ができる窓口を設けてほしい。

### 周辺環境・アクセスに関すること

**【周辺環境・まちづくり】**

- 機能強化とともに、宿泊施設や交通インフラ、国際交流拠点等を整備するなど、周辺のまちづくりを進めてほしい。
- 羽田空港周辺の交通網の整備などによって地域の利便性が向上すれば、住民にとってメリットになるのではないか。
- 機能強化にあわせて、地域の観光資源を積極的に PR し、活性化につなげるための方策も検討してほしい。

**【空港アクセス等の整備】**

- 深夜・早朝時をはじめ、羽田空港のアクセス充実に取り組んでほしい。
- 空港ターミナルやサービスの充実、24 時間化を進めてほしい。

### 将来的な対策

**【技術の進展に伴う飛行経路の見直し】**

- 管制技術などを進歩させ、将来的には飛行経路を更に見直してほしい。

**【滑走路の整備等による飛行経路の見直し】**

- 滑走路の新設や既存滑走路の延伸、配置の見直しなどによって、将来的には更なる影響の軽減を図ってほしい。

**【将来動向の見極め】**

- 将来的な需要や社会動向の変化に対応できるように、継続的に検討を行い、その時々状況に応じて計画の見直しをしてほしい。
- 飛行経路の決定にあたっては、期間を定めて飛行経路の見直しを行うことを明示してほしい。

**【その他】**

- 空港・航空が住民にとってより身近に感じられる取り組みが必要ではないか。

### 情報提供

**【更なる情報提供】**

- 機能強化における新飛行経路の必要性をより詳しく説明することが重要である。
- 現飛行経路に関するより詳しい情報がほしい。
- 騒音の範囲や想定値を、より詳細に示してほしい。
- 新飛行経路案が、地域別に詳細に示されたので良かった。
- 音や経路、高度などについて、現在示されているものよりももっと細かい地域別の詳細情報があると良い。
- 騒音や安全対策などの説明を更に充実してほしい。
- 天候や風向による運用割合、時間帯、飛行回数などの詳細な情報がほしい。
- 安全性に対する不安を払拭できるようなデータを示してほしい。
- 説明資料で示されているデータの算出根拠を教えてください。
- 事故発生や被害想定などリスクに関するデータや、万が一の事故時の対応を教えてください。
- 都市上空を飛行機とする他都市の事例について、飛行状況や周辺対策などを含めて教えてください。
- 機能強化にかかる費用などを教えてください。
- 環境影響に関する情報を教えてください。たとえば、環境影響調査や環境アセスメントなどを示してほしい。
- 最近の飛行機は安全性や静穏性が高まっているし、ましてや戦闘機とは状況が異なる。そうしたことをもっと PR すべきではないか。

**【わかりやすさ】**

- 住民にとってわかりやすい情報提供を心がけてほしい。
- 説明内容がよくわかった。理解できた。
- 騒音影響の評価指標を Lden（24 時間平均）にすることで、影響範囲を意図的に狭めて見せているのではないか。
- 【表現方法の工夫（音や映像等による再現など）】**
- 想定される音を体験したことで影響が判断できた。不安が解消できて良かった。
- 飛行機が次々に飛んでくる状況やもっと経路から離れた場所での音など、様々な状況も再現してほしい。
- 映像を見ることができるとはよいが、より実際の見え方に近づけてほしい。
- ヘッドホンだけでは実感がわかない。実際の音を聞いてみたいので試験飛行（テスト飛行）をしてほしい。
- 音の体感コーナーの映像を、説明会に参加した人以外も視聴できるようにしてほしい。
- 説明資料は、表現や文字の大きさにも配慮してほしい。
- 【方策策定および運用開始以降の取り組み】**
- 決定された方策の内容（飛行経路、高度、便数、騒音値など）については、引き続き情報を提供してほしい。
- 新経路での運用開始後にも住民の意見を聞く場を設けてほしい。

### その他

**【その他】**

- 正確な情報を基に住民が判断できるよう、マスコミには中立的に報道してほしい。
- この件についての報道量が少ないし、一部メディアに偏っているように感じる。もっと多くのメディアで取り上げるべきではないか。